



平成23年度 第18回 市民環境活動報告会 開催のお知らせ

第18回市民環境活動報告会実行委員会 実行委員長 柳川 三郎

第18回市民環境活動報告会を、2012年3月3日（土）横浜駅西口のかながわ県民センターで開催いたします。

この報告会は、県内各地で市民が自主的に行っている環境保全活動の実践例を報告し、且つお互いの研鑽に役立つ場作りを提供することを

目的として、NPO 法人神奈川県環境学習リーダー会、NPO 法人かながわ環境カウンセラー協議会、かながわ地球環境保全推進会議が、協働で「第18回市民環境活動報告会実行委員会」を立ち上げ運営しております。

今回は、東日本大震災をきっかけとして、「気づきから行動の環(わ)」というキャッチフレーズで、日頃の身近な環境保全活動や被災地域の支援活動を通じて気づいたことをテーマにいたします。

今回の報告会では、このテーマをもとに（1）東

日本大震災支援活動に関して2件、（2）大気(NO₂)測定に関して1件、（3）自然観測活動に関して3件、（4）節電の成果に関して1件、合計7件の「口頭発表」を行い、さらに意見交換を活発に行えるように、今回新たに発表者と参加者が共に一つの机を

囲んで話し合いができる「テーブルセッション」を行います。これにより発表者と参加者間での活動の輪を広げていけると期待しております。

当報告会では、当会の会員によるNO₂測定活動の報告とともに、東日本大震災の津波で多大な

被害を被った三陸漁港での復旧支援活動報告の発表もあります。当会会員の皆様がたをはじめとして、多くの環境活動にかかわる県民のかたがたをお誘い合わせの上、是非この報告会に出席していただき、お互いに環境活動を学びあうよき場となることを期待しております。

気づきから
行動の環(わ)

記

第18回市民環境活動報告会

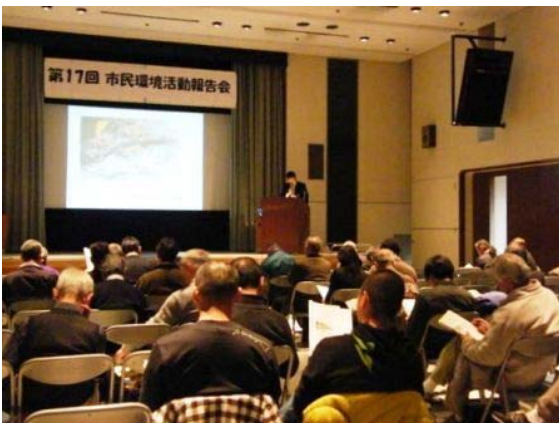
開催日時：平成24年3月3日（土） 12時～17時

開催場所：かながわ県民センター2階ホール（横浜駅西口）

主催：第18回市民環境活動報告会実行委員会

参加申込：不要、参加費：無料

詳細ならびにチラシ：当会ホームページ <http://npo-k-leader.net/>



昨年の市民環境活動報告会の様子



エコポイント寄附金活用による事業報告(1)

理事 荒谷 輝正

はまぎんこども科学館・洋光台まちづくり協議会・当会の共催で、3つの環境教室を、はまぎんこども科学館で実施しました。

1. ケナフという草でオリジナルハガキを作ろう

日時：平成23年10月8日 午後1時～3時

参加者数：13名

一年草植物ケナフから、繊維作り、紙すきにチャレンジ！ 自分だけのオリジナルハガキをつくらうということで、ビデオを使って、地球温暖化の現状及び植物の大切さを説明。続いて、ケナフの茎から繊維を取り出して紙にする過程を体験してもらい、その後、紙すきを体験してもらいました。

アンケートによると、また来年も行なって欲しい、思ったより簡単だったなど、参加者全員に大変好評でした。



紙すき手順の説明をする小川さん

2. 今、話題の二酸化炭素についていろいろ実験してみよう

日時：平成23年10月22日 午後1時～3時

参加者数：16名

地球温暖化の原因とされている二酸化炭素のいろいろな性質について、実験をしながら説明しました。特に、二酸化炭素のどんな性質が、地球温暖化に影響するのかを実験から確認しました。

アンケートによると、二酸化炭素はいらないものと思っていたが、ちょっとは必要なのだ、石灰水を二酸化炭素と混ぜたら白くなった、光を当てると空気より温度が上がった実験等に興味をもったようです。子どもの興味を持つ視点を知ってよかったと思います。



ドライアイスを使ってのシャボン玉実験方法を説明

3. 100%リサイクルの紙管を使ってイスを作ろう

日時：平成23年11月26日 午後1時～3時

参加者数：8名

100%リサイクル紙で作られた段ボールを使って椅子を作る工作をしました。紙は熱帯樹林の木材を使って作られ、日本では殆どが輸入されています。樹林は二酸化炭素を吸収するので、地球温暖化防止に役立っていること、この紙を再利用して地球温暖化防止に貢献することを知ってもらいたい。そして、もう一つはカッターや定規などを使って物づくりの楽しさを体験してもらいたいとの気持ちで講座を行いました。子供たちも大変楽しかったとのこと、また、作った椅子が軽くて丈夫なことに驚いていました。これからも、いろいろな物を作る講座をしたいと思っています。

アンケートでも、段ボールでこんな丈夫なイスが出来ることに驚いていました。



工作手順を説明する吉田さん

エコポイント寄附金活用による事業報告(2)

エネルギー部会 部会長 桑原 清

日野南コミュニティハウスでの「子ども環境体験教室」

エコポイント寄付金を活用した事業の一つとして、2011年12月18日(日)横浜市港南区の日野南コミュニティハウスで「子ども環境体験教室」を開催し、小学校1~6年生19名とその保護者が参加しました。

最初は地球温暖化と省エネについての学習です。地球温暖化の原因や対策について解説したDVDや、1950~2100年の地球の温度上昇をシミュレーションした映像を見て、地球温暖化について学びました。

省エネ実験では、手回し発電機で40Wの白熱電球を点灯する実験にチャレンジしたり、電球の種類による消費電力の違いを測定したり、テレビの画面の明るさ調整により消費電力を減らせることを学んだり、ラジカセの待機電力を測定したりしました。

次に、4チームに分かれてゲーム「暮らし方の違いさがし」にチャレンジし、小学生でもできる家庭の省エネ方法を楽しみながら学びました。

次は、お待ちかねの「ソーラーオルゴール工作」です。先生の指示を聞きながら、ドライバーで配線を固定したり、CD基板に両面テープで部品を固定したりして、最後には全員がオルゴールを鳴らすことができました。

最後に子どもたちの感想を聞きましたが、地球温暖化、省エネについて良く理解し、ソーラーオルゴール工作も楽しんでもらえたことが分かりました。



ゲーム「暮らし方の違いさがし」で省エネを学ぶ



ソーラーオルゴール工作



・・・会員募集の案内・・・

広報部長代行 田口 繁雄

当会では環境に関するさまざまな活動を行っており、新規会員を募集しています。

会員資格はなく、環境に対する思いがあれば、どなたでも入会できますので、会員各位におかれましては、お知り合いや、身近な人たちへのご案内を、よろしくお願いいたします。

会員の種類 正会員 賛助会員 学生会員 家族会員

当会の詳しい活動は、当会のホームページ URL <http://npo-k-leader.net/> (「神奈川県環境学習リーダー会」で検索すれば出てきます)を参照してください。

部会活動紹介

自然環境部会の紹介

自然環境部会長 吉田 榮一

自然環境部会の会員は現在 20 名です。当会の部会の中では会員数が比較的に多い方です。活動もかなり活発で、いつも 10 名前後の部員の方が参加しています。活動内容も広く、いろいろと取り組む内容を部会で議論しながら進めています。以下の内容も含めて、自然環境部会の活動に興味がある方、関連する活動を行っていただける団体・グループとの協働活動も行っていますので、部会員でない当会会員の方々の参加や、協働で実施する団体の方々との連携活動も大歓迎です。

自然環境部会の自然環境保全活動については、地元密着型で行なうことが多いですし、当会会員の方々は県下の広い地域に住んでおられますので、自然環境部会としてはこれらの多くの地域で実際に活動されている方々のスキルアップと情報交換、協働活動の推進を目指しています。そのために地域活動サポート部と連携して、いろいろの企画を実施してきたのが現在

までの部会活動の状況です。

平成 23 年度の活動内容は、部会開催 4 回、自然観察会 3 回（相模原公園・麻溝公園など、県立座間谷戸山公園、横浜山下公園・港の見える丘公園）や環境保全活動報告会 1 回（三陸沿岸での瓦礫除去のボランティア活動：会員松原氏報告、会報 76 号に詳細記事）を開催しました。これらの活動は当会のホームページや会報に掲載していますので、ご覧ください。一昨年ですが、土屋前部会長が現在仕事をしておられる北海道登別ネイチャーセンターを訪問し、初めて県外での自然観察会を開催し、多くの体験と現地の方との交流を広げました。

最近では新しく当会の会員になられる方で自然環境部会に入会して下さる方が比較的多く、これらの若い力や考え方をエネルギーとして活動の輪を広げています。写真は本年度に活動した時のものです。

連携と協働による
活動を推進



(写真右) 県立座間谷戸山公園で見かけたタシロラン：茎がすらっと伸び、茎も花も白です

(写真左) 相模原公園・麻溝公園のラクウショウ：柵があるのは地上根の保護のため



(写真左) 横浜港が見える丘公園の都市部では大変珍しい自然林：この場所に自然林が残されているのには歴史的な背景がある

(写真右) 環境保全活動報告会「三陸沿岸の瓦礫除去」：津波災害で発生した海底瓦礫処理作業の一例・・・報告者松原氏（自然環境部会員）らダイバー経験の豊富な方々がボランティアで行なった



新入会員からのメッセージ

新入会員の自己紹介を兼ねて ～ GDP に代わる指標が求められる～

技術士；環境アセスメント士 尾上 健治（横浜市）

子ども環境白書作成に携って

最近、「子ども環境白書」の作成をお手伝いしました。そこで感じたことを紹介させていただきます。

環境白書は、例年第1部で総合的な施策と称して、時々の環境を俯瞰した総論をまとめていて、平成23年度の環境白書は、「持続可能性と豊かさ」をテーマとして取り上げています。こども環境白書でも、当然その部分を反映した内容とすることになり、「環境」と「経済」、「文化・社会」の3つが「豊かさ」を支えているという構図を提案しました。



豊かさの目標とは

白書では、「豊かさ」は私たちが望むものとしているだけで、その意義付けや目標としての正当性については触れていません。果たして、私たちは「豊かさ」が実現できることを目標として生活し、そして、それを将来世代へ残せばよいのでしょうか。

昨年、ブータンのワンチュク国王夫妻が来日しました。国民総幸福量（GNH）という指標を提唱し、経済

成長よりも国民が幸せと感じる度合いである幸福量を重視するユニークな国づくりを進めていることで知られています。この幸福量を何故ブータンが追求しているかということ、国や人は低い順位に位置づけられることを嫌う傾向があるために、自信のある幸福量を目標化しようとしたのも一因だと考えられます。逆に考えれば、幸福量の少ない日本などはGDPに固執せざるを得ないという状況にあると考えられます。

そのGDPについて考えてみると、日本の人口が2050年頃には9000万人前後となり、1950年代の人

口と変わらなくなると予想されているので、その減少率に相当する分を一人当たりのGDPの増加で賄えない限り、わが国のGDPは確実に減少することになってしまいます。とすれば、我々もブータンと同様にGDP以外の指標を持っていないと、将来世代に辛い思いをさせることになってしまいます。我々は、早急に将来に向かって誇れるGDPに代わりうる指標を見つけなければならないこととなります。



豊かさを支えている
「環境」「経済」「文化・社会」

持続可能な環境については、低炭素社会、循環型社会、自然共生型社会、きれいな空気や水などによって持続可能な環境がベースとして豊かさを支えているとし、経済については農林水産業主体の経済を想定してみました。文化・社会については、人と人、人と社会とのつながりが希薄化している一方で、自然や環境を守るためのボランティア活動が活発となっているという調査結果があり、このような活動を通じて環境

を改善しつつ地域社会とのつながりを強め、豊かな暮らしを実現する足がかりにすると白書では指摘していることから、この方向でまとめています。人間が社会的動物である限り、何らかのコミュニティを形成することによって心の安定を確保しようとするということを再認識する必要があるのでしょうか。残念ながら、この部分は環境省によりリライトされてしまいましたが...

部会活動

ケナフ部会

部会長 荒谷 輝正

活動予定(1月~3月)

- ・2月3日(金)横浜市下野庭小学校学童保育(キッズクラブ)にて、牛乳パックによる紙すき実施
- 定例部会開催予定(原則、毎月1回実施予定)
- ・2月25日(土)新年第1回の例会を実施
本年度予定を検討

活動報告(23年9月~12月)

- ・10月8日 はま銀こども宇宙科学館「ケナフを利用した紙漉き教室」実施。13名参加。アンケートによれば大変好評でした。
- ・11月6日 ふるさとのば福祉の集いで「紙漉き実施」100人以上の参加者があり盛況でした。
- ・11月26日 はま銀こども宇宙科学館「100%リ

サクルの紙管を使ったイスを作ろう」講座実施。当日キャンセルがあり8名の参加でしたが、段

- ボールを使っても、丈夫な椅子が出来るのにびっくりしていました。最近、物を作る機会が無くなっているので良い体験になったようです。
- ・12月3日 平塚市リサイクルセンター「クルリン祭り」でケナフを使った紙漉きを実施。雨天だったため、例年より参加者は少なかったですが、体験者には大変喜ばれました。



エネルギー部会

部会長 桑原 清

活動予定(1月下旬~4月)

- 定例部会(県民センター 710会議室 16~18時)
- ・2月8日、3月14日、4月11日

活動報告(10月下旬~1月)

- ・10月27日、12月5日 秦野市内の小学校で環境出前授業
- ・12月18日 横浜市港南区の日野南コミュニティハウスで「子ども環境体験教室」を開催

定例部会(県民センター 16~18時)

- ・11月19日 部会活動計画、勉強会：原発、自販機の消費電力、シンポジウム参加報告、他。
- ・12月14日 部会活動計画・報告、勉強会：自然観察、各種イベント参加報告、コンビニの消費電力、他。
- ・1月11日 部会活動計画・報告、勉強会：スターリングエンジン、他。

大気環境部会

部会長 猪股 満智子

活動予定

- ・2月18日(土)13:30~ 定例部会 NPOセンター大船
12月度NO₂測定結果の評価、総括。市民環境活動報告会発表の精査・検討。次年度以降の活動・測定方針の検討、等。

活動報告

- ・11月19日 定例部会 NPOセンター大船
(エコアナ方式とエコチェッカー方式の比較・検討)及び12月NO₂測定準備、2種類のろ紙充填作業
- ・12月1日夕~2日夕 冬季NO₂測定

- ・12月3日 KERC 実習室 地図情報ソフト「MANDARA」操作講習会に参加
- ・12月9日 国連大学(渋谷)独立行政法人・海洋研究開発機構講演会&ポスターセッション「季節変動予測への扉」聴講
- ・12月10日、11日 KERC 実習室 2種類の測定方式によるNO₂分析



水環境部会

部会長 齋藤 昭一

活動予定

- ・平成24年3月10日(土)午前10時~12時「水質分析学習会」を県環境科学センター実習室にて実施します。本多久雄元専門研究員による『科学的水質分析』についての学習会を開催します。当会のメンバーはもちろん、内外を問わず、ぜひ多くの友人にもお声かけして、かけがえのない大切な水の「水質分析」の学習会に参加して下さるよう期待しています。

活動報告

- ・平成23年10月9日(晴)JR松田駅(山側)集合。酒匂川(川音川)合流地点調査、5名参加。「コモチカワツボ、ナミウズムシ」の収穫なし。
- ・平成23年11月6日(雨)JR鴨宮駅(海側)集合。狩川調査。3名参加。狩川(神明橋)上流に入る。気温20度。水温17度。コモチカワツボ、ナミウズムシの収穫なし。「アブラハヤ、シマドジョウ、マンネンドジョウ、カワゲラ、トビゲラ、カゲロウ」を採取する。雨の中、地元ということで飯田さんに参加して頂いたことが嬉しかった。

グリーン部会

部会長 柳川 三郎

活動予定

- ・2月26日(日)相模原市環境情報センターからの依頼の出前講演 テーマ「川と海を行き来する生きもの」

活動報告

- ・平成23年11月4日、5日 東日本大震災 GPN 応援プロジェクト「被災地支援を考える視察」~被災地の現状を知り、有効な支援の具体的内容を考える~に参加。宮城蒲生干潟から2km 地点で復興の現場を知り、立ち上がる東北人の気迫に驚

嘆しました。被害最初からガレキの分別しての整理手法が環境にベターであることを知りました。

- ・平成23年12月13日 菜種油絞り、昨秋の菜種たね蒔き、春の菜の花の芽が出て、初夏に刈り取り菜種整理。そして油しぼり、カスの肥料化と自然の中で循環性を実践しました。油は2リットル摂れました。
- ・1月13日 平塚市立みずほ小学校へ出前授業、4年生、42名、テーマ「エコな買い物の仕方を学ぼう」

自然環境部会

部会長 吉田 榮一

活動予定

- ・3月20日(月・祭)部会 14時30分~16時30分 かながわ県民センター601号室

活動報告

- ・11月27日 活動報告会 かながわ県民センター709号室 演題:『三陸沿岸の海底瓦礫撤去活動報告』講師:松原洋一氏
- ・12月25日 部会 かながわ県民センター710号室 議題:平成24年度活動方針・活動計画について



活動報告会:透明度が悪い時にはダイバー同士がロープを持って潜水し、連携してまず状況調査を行なった



事務局だより

事務局 桑原 清

理事会開催予定

かながわ県民センター710 会議室、14時～16時
2月9日(木)、3月8日(木)、4月12日(木)

事業実施予定

1月26日(木)神奈川県新エネ・省エネ学校派遣事業 2日目 相模原市内の小学校

理事会報告

かながわ県民センター会議室、14時～16時

11月10日 4～9月会計報告、コミカレ、第18回市民環境活動報告会、助成金等について協議。

12月8日 エコポイント寄附金事業、コミカレ、市民環境活動報告会、助成金等について協議。

1月12日 コンソーシアム事業、コミカレ、市民環境活動報告会、助成金等について協議。

終了した事業

11月26日「CO₂について調べ、体験しよう」はまぎんこども宇宙科学館(2面に掲載)

12月18日「子ども環境体験教室」日野南コミュニティハウス(3面に掲載)

東日本大震災ボランティア活動原稿募集

広報部長代行 田口 繁雄

東日本大震災からまもなく1年を迎えます。このような大災害に当会の会員の方々においても、災害現場でのボランティア活動で活躍している方も多々いるかと思えます。環境面から見た現地ボランティア活動状況報告や活動から感じたこと等を、会員間で共有するために、ぜひ投稿をお願いします。

原稿の投稿は、E-MAIL npo.k.leader@gmail.com にて、広報部 田口宛にお願いします。

なお「第18回市民環境活動報告会」でも当会会員による三陸漁港でのボランティア活動の発表が予定されています。



参加協力をお願いします!

(一部 環境省 いきものみつけ事業連携)

気候変動を見守ろう

今冬は最近にない厳しい寒さが続いています。南米のほうではラニーニャ現象の影響で、干ばつと洪水の連続的な繰り返しが起きているそうです。地球規模の海流の影響が各地の気候形成の源と。

身近な生物を指標に初確認日をご報告願います。

キーワードは「いつ、どこで、初見、初聞き」

冬～春の対象：モンシロチョウ、スジグロシロチョウ、カントウタンポポ、シロバナタンポポ、フキノトウ、マンサク、ウグイスの初鳴き(ささ鳴きでない)、ヒキガエルの卵、ヤマアカガエル・ニホンアカガエルの卵塊及びオタマジャクシ、ツバメの飛来、ソメイヨシノ

遠出をする必要はありません。自宅周辺、外出の際などに、ほんのちょっと注意をはらうと、毎年の気候変化が手に取るよう。1種でも結構です。見つけたもの、聞いたものと簡単な地名をご報告願います。県版データ化しています。一度確認した場所を毎年追ってみると、変化がわかってよいですね。

送り先：大気環境部会 猪股 Tel/Fax 0467-32-6858

Eメール：km_inmt@ybb.ne.jp

(環境省いきものみつけのホームページは、<http://www.mikke.go.jp/> をご覧ください。)

特定非営利活動法人

神奈川県環境学習リーダー会 会報 第77号

発行日：2012年1月23日

発行者：代表理事 齋藤昭一

編集人：田口繁雄広報部長代行、長村吉洋広報部

〒231-0013 横浜市中区住吉町2-26

洋服会館3階 よこはま市民共同オフィス内

FAX：050-3488-4943

E-MAIL：npo.k.leader@gmail.com

URL：http://npo-k-leader.net/

寄付、会費等納入口座：ゆうちょ銀行

00230-4-30769 神奈川県環境学習リーダー会

不許複製 © 神奈川県環境学習リーダー会

2012 Printed in Japan